

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	映像演技ワークショップ in 小諸
事業主体 (連絡先)	小諸まち映画製作委員会 〒384-0011 長野県小諸市赤坂 1-5-4 090-1432-5003 代表 田中幸城
事業区分	教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	427,684 円 (うち支援金 : 320,000 円)

事業内容

●午前

(連動企画 まち映画を観よう!)

来場者 48 名

10 時～

『あおとんぼ』(19 分)

群馬県千代田町で制作されたまち映画。

監督/脚本 藤橋誠

※上映後、市民協働型「まち映画」について

監督藤橋より説明しその後来年 4 月から制作を開始する

『さかみちラブソディ』についても紹介。



【プロ俳優から演技指導を受ける子供たち】

●午後

(映像演技ワークショップ)

13:00～

小学生・中学生の部

参加者 8 名(小学 2 年生～中学 3 年生 8 名)

16:00～

高校生・大学生・成人の部

参加者 8 名(高校生 2 名、成人 6 名)

※各部 2 時間。

短編まち映画『屋上の夢』(7 分)を鑑賞後、

基本的な発声練習や相互理解のためのレクリエーションを実施。

プロの俳優より実践的な演技指導を行いました。

最後は台本をもとに実際にカメラの前で演技をし、撮影。

指導前と後でどう感情の変化が起こったのかをスクリーンで確認してもらいました。

事業効果

① 主体的な市民の参加

参加目標人数には届きませんでしたが、1部2部合わせて16名の方に参加いただきました。演技する楽しさを感じていただいたようで10月に行われる、こもろまち映画『さかみちラブソディ』オーディションにはワークショップ参加者14名が受けてくれます。

② 映像制作の過程でのコミュニケーション

世代間の交流を目的にしていたが、2部制にしたこともあり難しかったです。制作スタッフとの交流は講師の俳優さんと監督に関しては触れ合う機会も多く達成できました。成人の部では年配の参加者から「仕事も辞め毎日に刺激がない中で、こういった場で若い人と関われる機会が本当に嬉しい」との声をいただきました。

【目標・ねらい】

- ① 主体的な市民の参加
- ② 映像制作過程でのコミュニケーション

※自己評価【B】

【理由】

参加者目標40人に対し16名の参加であったことは残念。もっと多くの参加者を集めるためには、チラシの配布場所を検討することや表現活動をしている団体などにアプローチしていくべきと感じる。

今後の取り組み

参加人数が定員の40名に達することが出来なかったことは、事前の事業計画及び周知方法に課題があったと反省しております。

実施内容については、映像制作を様々な角度から参加者が実体験することによって、メディアリテラシーの向上に繋がったと感じておりますので、小諸市の子どもたちにとって有意義な経験の場を提供することが出来たと感じております。

今後も多くの子どもたちにこのような機会を与えるためにも、事業内容を再度検証し、よりよい形でこもろまち映画『さかみちラブソディ』の成功にむけて、継続していくことが重要だと考えております。

10月～11月・キャストオーディション実施

(1次<10/20、10/28>、最終<11/18>)

脚本第1稿完成、小諸市内ロケ地決定

12月～3月・脚本読み合わせ(12/16)&演技トレーニング(1/13、2/17)、

脚本第2稿完成

演技強化合宿(3/16、17)、ロケハン、衣装美術打合せ、脚本最終稿完成

<2019年>

4月～6月・本編撮影(7日間)、フライヤー・ポスター制作

6月～7月・編集、主題歌及び音楽制作、フライヤー完成・配布、上映会宣伝開始

8月・市内先行上映会実施(@小諸市民交流センターステラホール)

9月・県内外映画館等にて上映会実施、DVD完成(12月末/協賛企業に配布)